

一般質問

永吉台地の将来に向けた開発は



坂元正春議員

広大な永吉台地に、公共の町営住宅と（仮称）農工産業支援センター、特別養護老人ホームを誘致する考えはないか。

慎重に検討したい。

町長

町営住宅の建設については、民間の資金とノウハウを活用した住宅建設を考えており、具体的な答えを出せる状況にない。農工産業支援センターは、採算性や既存の団体との調整等慎重に検討したい。特老ホームは、県の許可が無い限り難しい状況

にある。

下永吉畑地の整備は

坂元議員

国道二二〇号線から下の畑地は、畑漕事業以前に基盤・広区画・農道整備が先決と思うが。

地権者の説得と熱意

町長

下永吉台地の畑地は、昭和の前半に整備されたが、圃場整備はしていない。畑漕施設工事以前にこれらの整備は地域の将来にとって大事な事と思っている。計画は、汐入川河川改修等の整備や、排水対策等の条件を整え、区画整理事業導入等の検

討を進めたい。

永吉毛無原の国有林の利用法は

坂元議員

国道四四八号線沿いにある国有林の一部払い下げによる利用法として、町営住宅地・若者定住促進のベッドタウン・企業誘致用土地として取り組む考えはないか。

今のところ考えていない

町長

住宅建設や、若者定住促進のベッドタウンとした住宅建設地としては考えていない。又、企業誘致用地としても、企業の求めに応じた用地の選定をすべきであり、今のと

ころ考えていない。

少子高齢化対策について

坂元議員

我が町の将来を考える時、少子化がもたらす影響は大きい。少子化が進む一番の問題は何か。

個人の意識の変化

町長

少子化が進行する要因として、若者の数の減少と、晩婚化の進行や未婚率の上昇等が挙げられ、結婚観や価値観、個人の意識の変化、育児と仕事の両立の負担感があると思われる。

次世代育成支援対策は

坂元議員

未婚男性の増加と、社会進出による女性の未婚者増加により、少子化は

一段と進んでいるが、次世代育成支援対策は考えられているか。

育児不安の解消策を

町長

本町としては、町の実情に即した少子化の抑制と、地域子育て支援センターの充実と合わせ、低学年児童の健全育成のため「放課後児童クラブ」の充実を図っていきたい。

未婚者の対応策は

坂元議員

三十代～五十代の未婚者が、町内で四百名を超える状況にある。町の将来に大きな影響を与えると思うが対応策は考えているのか。

対応に苦慮

町長

町内の多くの未婚者の実態は認識している。未

婚率の上昇や、晩婚化により出生数が減少すれば、後継者問題や年金・医療・福祉等の社会保障の分野において、現役世代の負担の増大が予想される。

今後企業誘致を推進し、雇用の確保と若者の定住化を図りながら、少子化抑制につなげたい。

若者の定住策は

坂元議員

少子高齢化で過疎化が進んでいるが、どのような定住策を考えているか。

更に企業誘致に努力

町長

誘致企業により、若者が町内に居住する割合が増えて少子化・過疎化の進行を抑える事になる。今後さらに企業誘致の推進をはかり、雇用の確保と若者定住化に努めていきたい。